

この人

「医療保険の加入状況は以前より改善され、約八割の人

保険がない、言葉が通じないなどの理由で医療を受けられない外国人に検診の機会を。実行委員会形



式でスタッフを募り、静岡市内での開催は十一回目を数えた。約十年前から運営に携わる。県立大短期大学部看護学科講師。静岡市出身。四十三歳。

—受診者の状況を毎年調査しています。

外国人のための検診会 実行委事務局長

前野 真由美さん (静岡市駿河区)

が入っています。しかし実際に医療機関を受診している人は五割程度。言葉が分からなくて受診を抑制している実態がみえてきました」

—運営状況は。

「運営資金やボランティアの確保は毎回大変。綱渡りの状態です。会場とスタッフを提供してくれる静岡厚生病院には大変感謝しています」

—検診会の意義をどう考えていますか。

「外国人も日本人と同様に安心して暮らせる環境をつくらなければ。現状では行政が誰かが検診の場を設ける必要があると思います」

◇
専門は成人看護学。在住外国人の終末期・緩和ケアの研究に取り組む。